



2021年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年7月31日

上場会社名 住友重機械工業株式会社 上場取引所 東
 コード番号 6302 URL https://www.shi.co.jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 下村 真司
 問合せ先責任者 (役職名) コーポレート・コミュニケーション部長 (氏名) 渡辺 美知子 (TEL) 03-6737-2331
 四半期報告書提出予定日 2020年8月7日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満四捨五入)

1. 2021年3月期第1四半期の連結業績(2020年4月1日~2020年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第1四半期	180,657	△11.5	7,006	△48.2	5,693	△57.3	2,603	△70.8
2020年3月期第1四半期	204,181	0.7	13,531	△21.4	13,339	△21.7	8,907	△18.1

(注) 包括利益2021年3月期第1四半期 △2,566百万円(—%) 2020年3月期第1四半期 10,057百万円(128.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第1四半期	21.25	—
2020年3月期第1四半期	72.69	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第1四半期	980,386	471,438	46.8
2020年3月期	996,111	477,648	46.6

(参考) 自己資本2021年3月期第1四半期 459,115百万円 2020年3月期 464,457百万円

(注) 当第1四半期連結累計期間において、企業結合に係る暫定的な会計処理の確定を行っており、前連結会計年度の連結財務諸表については、暫定的な会計処理の確定の内容を反映させております。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	56.00	—	35.00	91.00
2021年3月期	—	—	—	—	—
2021年3月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 2021年3月期の配当予想については、現時点では通期連結業績予想の算定が困難であるため未定といたします。

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日~2021年3月31日)

2021年3月期の連結業績予想について、新型コロナウイルスの世界的な感染拡大による影響により、現時点では合理的な算定が困難であるため、未定といたします。今後、連結業績予想の算定が可能となった時点で速やかに開示いたします。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 一社、除外 一社

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

- ① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数 (四半期累計)

2021年3月期1Q	122,905,481株	2020年3月期	122,905,481株
2021年3月期1Q	389,796株	2020年3月期	389,392株
2021年3月期1Q	122,515,795株	2020年3月期1Q	122,524,923株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等につきましては、添付資料4ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9
(重要な後発事象)	9
3. 補足情報	10
(1) セグメント別受注高・売上高及び営業損益・受注残高	10
(2) (要約)四半期連結キャッシュ・フロー計算書	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期における当社グループを取り巻く経営環境は、新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、国内においては、緊急事態宣言の発出により諸活動の停滞が見られ、海外においては、パンデミックによるロックダウンやそれに伴う経済状況の低落が見られるなど、機械需要は全世界的に下降局面を迎えることとなりました。また、これに加え、米中貿易摩擦の深刻化、地政学上のリスクの継続及び原油価格の変動と低迷など、不透明感も増すこととなりました。

このような経営環境のもと、当社グループは、従業員の安全確保や社会的要請への最大限の協力など新型コロナウイルス感染に対する対処を進め、罹患者発生時における生産維持などの短期的なBCP(事業継続計画)の実現や受注減少局面での事業維持、工場操業の確保などに取り組んでまいりました。

この結果、受注高につきましては、機械コンポーネント、精密機械及び建設機械の部門で減少し、前年同期比9%減の1,747億円となりました。また、売上高につきましては、産業機械及び環境・プラントの部門を除く全ての部門で減少し、前年同期比12%減の1,807億円となりました。

損益面では、機械コンポーネント、建設機械及び船舶の部門で減少し、営業利益は前年同期比48%減の70億円、経常利益は前年同期比57%減の57億円、親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同期比71%減の26億円となりました。

各部門別の状況は、以下のとおりであります。

① 機械コンポーネント部門

全世界的に新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、受注、売上ともに減少しました。また、売上が減少したことで営業損失となりました。この結果、受注高は329億円(前年同期比4%減)、売上高は284億円(前年同期比11%減)、営業損失は2億円となりました。

② 精密機械部門

プラスチック加工機械事業は、新型コロナウイルス感染拡大の影響もあり、中国の電気電子関連の需要が低迷したことや、世界的に自動車関連の需要が減少したことから、受注、売上、営業利益ともに減少しました。その他精密機械事業は、半導体関連の需要が堅調で、受注は前年同期比で減少したものの、売上、営業利益は増加しました。この結果、受注高は336億円(前年同期比21%減)、売上高は383億円(前年同期比9%減)、営業利益は36億円(前年同期比5%増)となりました。

③ 建設機械部門

油圧ショベル事業は、新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け海外の需要が減少したことから、受注、売上、営業利益ともに減少しました。建設用クレーン事業も、新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け需要が減少したことや、原油価格低迷により北米地区の需要が減少したことにより、受注、売上、営業利益ともに減少しました。この結果、受注高は501億円(前年同期比29%減)、売上高は523億円(前年同期比26%減)、営業利益は11億円(前年同期比81%減)となりました。

④ 産業機械部門

運搬機械事業は、大型案件の受注が増えたことなどから受注、売上、営業利益ともに増加しました。その他産業機械事業は、新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け受注活動が停滞したことなどから受注、売上ともに減少しましたが、売上機種構成の変化で営業利益は増加しました。この結果、受注高は213億円(前年同期比4%増)、売上高は222億円(前年同期比22%増)、営業利益は19億円(前年同期比188%増)となりました。

⑤ 船舶部門

船舶市況は引き続き低迷しておりますが、当第1四半期は前年同期比1隻増の1隻の新造船を受注しました。引渡しは前年同期比1隻増の1隻でしたが、船舶修理案件が減少したことで売上は減少し、営業損失となりました。この結果、受注高は79億円(前年同期比79%増)、売上高は76億円(前年同期比20%減)、営業損失は12億円となりました。

⑥ 環境・プラント部門

エネルギープラント事業は、欧州でバイオマス発電設備の大型案件を受注したことなどから受注は増加し、主に国内で受注残があったことから売上、営業利益ともに増加しました。水処理プラント事業は、排水処理装置の案件が前年同期に比べ減少したことなどから受注は減少しましたが、受注残があったことから売上、営業利益は増加しました。この結果、受注高は276億円(前年同期比55%増)、売上高は305億円(前年同期比2%増)、営業利益は14億円(前年同期比63%増)となりました。

⑦ その他部門

受注高は13億円(前年同期比35%減)、売上高は14億円(前年同期比9%減)、営業利益は3億円(前年同期比28%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

当第1四半期連結会計期間末(2020年6月30日)における総資産は、前連結会計年度末と比べてたな卸資産が107億円増加した一方、受取手形及び売掛金が216億円、現金及び預金が65億円それぞれ減少したことなどにより、前連結会計年度末比157億円減の9,804億円となりました。

負債合計は、支払手形及び買掛金が134億円減少したことなどにより、前連結会計年度末比95億円減の5,089億円となりました。

純資産は、為替換算調整勘定が62億円減少したことなどにより、前連結会計年度末比62億円減の4,714億円となりました。

以上の結果、自己資本比率は、前連結会計年度末比0.2ポイント増の46.8%となりました。

② キャッシュ・フローの状況

当第1四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ60億円減少し、777億円となりました。当第1四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第1四半期連結累計期間における営業活動によるキャッシュ・フローは、39億円の資金の増加となり、前年同期に比べ97億円の減少となりました。これは、法人税等の支払額が減少したものの、売上債権の減少幅が縮小したこと及び税引前利益が減少したことなどによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第1四半期連結累計期間における投資活動によるキャッシュ・フローは、134億円の資金の減少となり、前年同期に比べ46億円支出が増加しました。これは、連結の範囲の変更を伴う子会社株式及び出資金の取得による支出が増加したことなどによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第1四半期連結累計期間における財務活動によるキャッシュ・フローは、42億円の資金の増加となり、前年同期に比べ149億円収入が増加しました。これは、有利子負債が増加したことなどによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年3月期の業績見通しにつきましては、受注後リードタイムが短い機械コンポーネント、精密機械及び建設機械部門を中心に、世界各国の新型コロナウイルス感染拡大の影響を大きく受けておりますが、現時点におきましても不確定要素が多く合理的な算定が困難であるため、2021年3月期の連結業績予想は未定といたします。今後、業績予想の算定が可能となった時点で速やかに開示いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	87,067	80,560
受取手形及び売掛金	271,406	249,763
たな卸資産	200,978	211,656
その他	36,673	35,574
貸倒引当金	△3,341	△3,250
流動資産合計	592,784	574,304
固定資産		
有形固定資産		
土地	107,535	107,315
その他(純額)	160,530	161,807
有形固定資産合計	268,066	269,121
無形固定資産		
のれん	28,831	30,948
その他	45,280	44,836
無形固定資産合計	74,111	75,784
投資その他の資産		
その他	65,448	65,402
貸倒引当金	△4,297	△4,225
投資その他の資産合計	61,151	61,177
固定資産合計	403,327	406,083
資産合計	996,111	980,386
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	158,489	145,140
短期借入金	28,139	35,798
1年内返済予定の長期借入金	4,499	4,493
コマーシャル・ペーパー	35,000	32,000
保証工事引当金	13,742	13,004
その他の引当金	4,233	4,047
その他	121,554	117,781
流動負債合計	365,657	352,262
固定負債		
社債	30,000	30,000
長期借入金	27,032	32,163
引当金	154	153
退職給付に係る負債	53,628	53,134
再評価に係る繰延税金負債	20,628	20,628
その他	21,365	20,609
固定負債合計	152,806	156,686
負債合計	518,463	508,948

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	30,872	30,872
資本剰余金	26,070	26,070
利益剰余金	367,229	366,984
自己株式	△1,080	△1,081
株主資本合計	423,091	422,845
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,410	3,253
繰延ヘッジ損益	△532	△383
土地再評価差額金	40,626	40,626
為替換算調整勘定	4,911	△1,326
退職給付に係る調整累計額	△6,049	△5,900
その他の包括利益累計額合計	41,366	36,270
非支配株主持分	13,191	12,323
純資産合計	477,648	471,438
負債純資産合計	996,111	980,386

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年6月30日)
売上高	204,181	180,657
売上原価	156,592	140,755
売上総利益	47,589	39,901
販売費及び一般管理費	34,058	32,895
営業利益	13,531	7,006
営業外収益		
受取利息	223	221
受取配当金	400	199
その他	598	452
営業外収益合計	1,221	872
営業外費用		
支払利息	247	284
為替差損	361	1,025
その他	804	876
営業外費用合計	1,412	2,185
経常利益	13,339	5,693
税金等調整前四半期純利益	13,339	5,693
法人税等	3,826	2,964
四半期純利益	9,513	2,729
非支配株主に帰属する四半期純利益	606	126
親会社株主に帰属する四半期純利益	8,907	2,603

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
四半期純利益	9,513	2,729
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△362	843
繰延ヘッジ損益	267	148
為替換算調整勘定	415	△6,433
退職給付に係る調整額	222	144
持分法適用会社に対する持分相当額	2	2
その他の包括利益合計	544	△5,296
四半期包括利益	10,057	△2,566
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	9,430	△2,493
非支配株主に係る四半期包括利益	627	△74

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用につきましては、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

3. 補足情報

(1) セグメント別受注高・売上高及び営業損益・受注残高

① 受注高

(単位：百万円)

セグメント	前年同四半期 (2019/4～2019/6)	当第1四半期 (2020/4～2020/6)	増減	
	金額	金額	金額	比(%)
機械コンポーネント	34,085	32,868	△1,217	△3.6
精密機械	42,527	33,634	△8,893	△20.9
建設機械	70,567	50,132	△20,435	△29.0
産業機械	20,413	21,305	893	4.4
船舶	4,406	7,898	3,492	79.3
環境・プラント	17,791	27,561	9,770	54.9
その他	2,015	1,317	△697	△34.6
合計	191,804	174,716	△17,087	△8.9

② 売上高及び営業損益

(単位：百万円)

セグメント	前年同四半期 (2019/4～2019/6)		当第1四半期 (2020/4～2020/6)		増減	
	売上高	営業損益	売上高	営業損益	売上高	営業損益
機械コンポーネント	31,912	1,881	28,395	△190	△3,517	△2,070
精密機械	41,923	3,441	38,290	3,605	△3,633	163
建設機械	71,151	5,792	52,325	1,124	△18,825	△4,668
産業機械	18,235	644	22,172	1,857	3,937	1,213
船舶	9,452	621	7,574	△1,177	△1,878	△1,798
環境・プラント	29,954	886	30,493	1,449	540	562
その他	1,554	286	1,407	433	△147	147
調整額	—	△21	—	△94	—	△73
合計	204,181	13,531	180,657	7,006	△23,525	△6,524

③ 受注残高

(単位：百万円)

セグメント	前期末 (2020.3.31)	当第1四半期末 (2020.6.30)	増減	
	金額	金額	金額	比(%)
機械コンポーネント	33,419	37,891	4,473	13.4
精密機械	87,101	82,444	△4,656	△5.3
建設機械	59,063	56,870	△2,193	△3.7
産業機械	97,754	96,888	△866	△0.9
船舶	37,135	37,460	324	0.9
環境・プラント	246,087	243,155	△2,932	△1.2
その他	1,296	1,207	△89	△6.9
合計	561,855	555,915	△5,940	△1.1

当社のセグメント区分は、以下のとおりであります。

事業区分	主要製品
機械コンポーネント	減・変速機、モータ、インバータ
精密機械	プラスチック加工機械、フィルム加工機械、半導体製造装置、レーザ加工システム、極低温冷凍機、精密位置決め装置、精密鍛造品、制御システム装置、防衛装備品、工作機械
建設機械	油圧ショベル、建設用クレーン、道路機械
産業機械	加速器、医療機械器具、鍛造プレス、運搬荷役機械、物流システム、駐車場システム、タービン、ポンプ
船舶	船舶
環境・プラント	自家発電設備、ボイラ、産業廃棄物処理設備、大気汚染防止装置、水処理装置、プロセス装置、反応容器、攪拌槽、空調設備、食品製造機械

(2) (要約)四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前年同四半期 (2019/4～2019/6)	当第1四半期 (2020/4～2020/6)	増減
税金等調整前四半期純利益	13,339	5,693	△7,646
減価償却費	6,896	7,362	465
売上債権の増減額(△は増加)	31,863	21,695	△10,167
たな卸資産の増減額(△は増加)	△18,020	△10,883	7,137
仕入債務の増減額(△は減少)	△7,222	△12,963	△5,741
法人税等の支払額	△11,660	△3,649	8,012
その他	△1,612	△3,360	△1,747
営業活動によるキャッシュ・フロー	13,583	3,896	△9,687
固定資産の取得による支出	△10,349	△8,547	1,802
その他	1,483	△4,883	△6,366
投資活動によるキャッシュ・フロー	△8,865	△13,430	△4,565
借入金等の増減額(△は減少)	△2,259	9,448	11,707
配当金の支払額	△7,373	△4,158	3,215
その他	△1,122	△1,135	△13
財務活動によるキャッシュ・フロー	△10,754	4,155	14,909
その他	973	△595	△1,567
現金及び現金同等物の期首残高	69,776	83,630	13,854
現金及び現金同等物の四半期末残高	64,712	77,656	12,944